

熱田の歴史・文化再発見

名古屋の旧町名を復活させる有志の会

あつた宮宿会

熱田について



(三井記念美術館所蔵・熱田区誌)

熱田神宮について

678万人...熱田神宮

222万人...東山動植物園

204万人...名古屋港水族館

165万人...名古屋城

名古屋市観光客・宿泊客動向調査(H25)

魅力1(神話からの歴史)



日本武尊



「ヤマトタケルノミコト ミヤズヒメノミコトと一別の計」
尾張名所図会より

魅力2(信長塀と源頼朝)

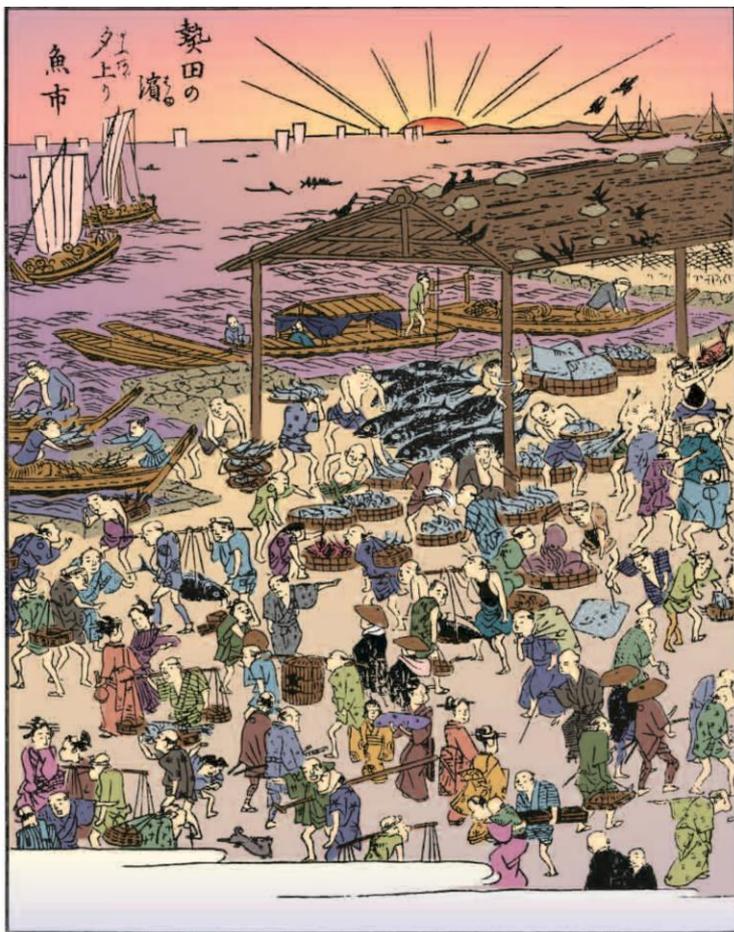


誓願寺
頼朝公産湯池



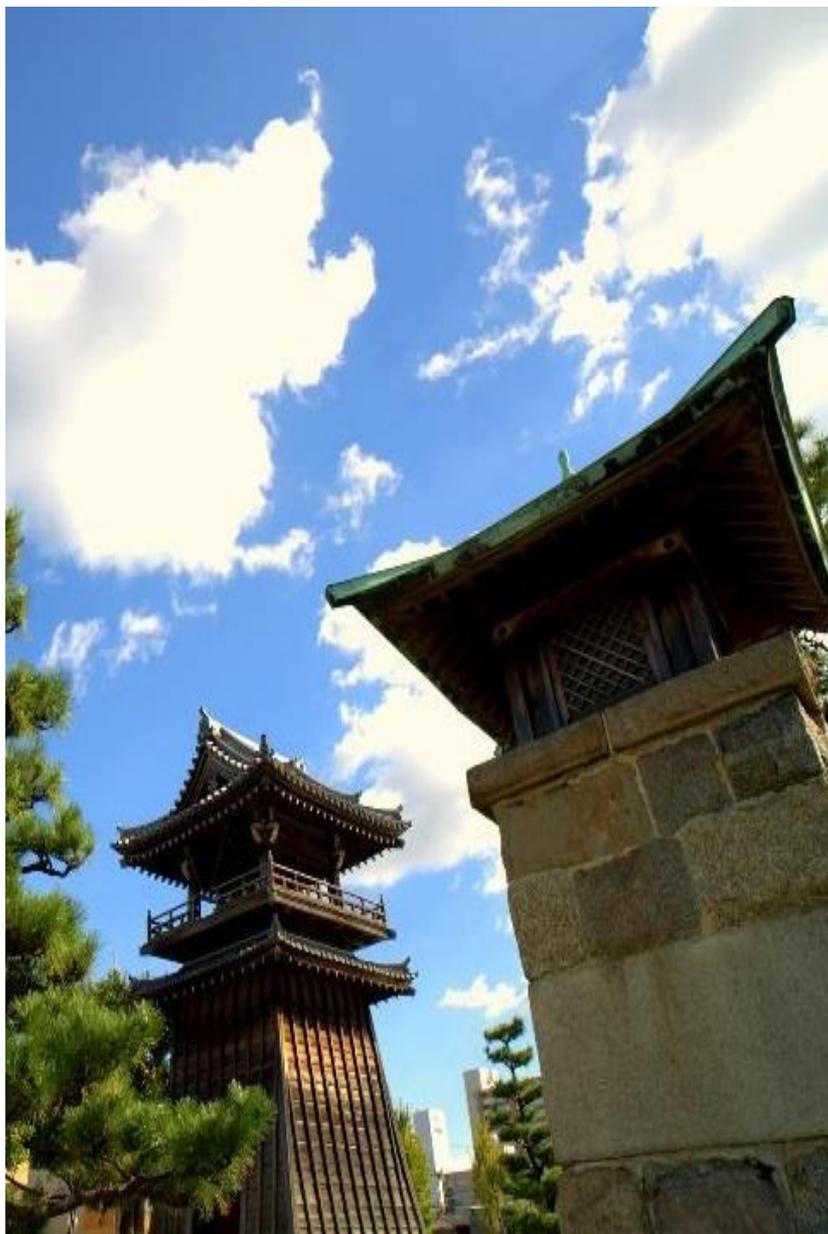
信長塀

魅力3(繁栄を極めた江戸時代)



尾張名所図会(名古屋都市センター)

魅力4(現在も交通の要衝)



課題1 (戦火による焼失)



課題2 分断された魅力



将来に向けての解決策

空中駅前町



第6回(公社)愛知建築士学生コンペ
鳥越嗣永、吉田紘明、富田昌博、原田健介
千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻

新しい動き



あつた宮宿会1 (概要)

「あつた宮宿会」とは：
熱田の魅力を外へ発信することを目的に、地元の老舗やNPO・大学が
参画した団体。

〈主な加入店舗〉

- ・あつた蓬萊軒
- ・宮きしめん
- ・きよめ餅総本家
- ・亀屋芳広
- ・妙香園
- ・大矢蒲鉾商店
- ・名古屋学院大学
- ・NPOなど

老舗若旦那 熱田を熱く



「宮の浜市」に向けて会議をするあつた宮宿会のメンバーら＝熱田区の名古屋学院大で

「あつた宮宿会」のあつた蓬萊軒や「宮きしめん」の宮商事など名古屋の食文化を受け継ぐ老舗の若年後継者らが、地元の熱田区のまちづくりを盛り上げようと、東海道五十三次の四十一番目の宿場町・宮宿にちなんで「あつた宮宿会」を結成した。二十日は会の発足記念シンポジウム「熱田のにぎわい知る宮〜か」が同区の名古屋学院大で開かれた。（奥田哲平）

「宮宿会」結成 まちづくりへ連携

宮宿会が結成された。町が持ち回りで開くのは昨年十月、旧宿場イベントが熱田神宮で開かれたのがきっかけ。中心になったNPO法人「堀川まちネット」（川口正秀理事長）が若旦那たちを誘った。同じ熱田区のお爺さんが、蓬萊軒の六代目、鈴木淑久さん(左)は「親同士は知り合っても、若手はほとんど面識がなかった」。本業に忙しく、地元との関わりは薄かった。宮宿会には熱田神宮や市民団体、区役所、名古屋学院大の関係者も加わり、地域を挙げた態勢になった。毎月一回、仕事が終わった後に集まり、歴史文化を見直したり、熱田区の将来構想を練ったりと、各委員会に分かれて議論している。

同大経済学部教授の水野晶夫さん(左)は「まちづくりはビジネスと切り離せないが、行政主導だと収益性のあることをするのは難しい。老舗が顔をそろえるのは可能性を秘めている」と期待する。二十日のシンポジウムでは、熱田神宮の大原和生総務部長が講演し、「参動交代」道を通過する四十一番目の宿場だ。人々を呼び込ませた。あつた」と熱田の隆盛を紹介した。

主な熱田区のお爺

| | |
|----------------|-------------|
| 宮商事(製麺) | 1923(大正12)年 |
| あつた蓬萊軒(うなぎ料理) | 1873(明治6)年 |
| きよめ餅総本家(菓子) | 戦後に再建 |
| 妙香園(日本茶) | 1916(大正5)年 |
| 亀屋芳広(菓子) | 1949(昭和24)年 |
| 大矢蒲鉾商店(かまぼこ製造) | 創業150年以上 |

「あつた宮宿会」のあつた蓬萊軒や「宮きしめん」の宮商事など名古屋の食文化を受け継ぐ老舗の若年後継者らが、地元の熱田区のまちづくりを盛り上げようと、東海道五十三次の四十一番目の宿場町・宮宿にちなんで「あつた宮宿会」を結成した。二十日は会の発足記念シンポジウム「熱田のにぎわい知る宮〜か」が同区の名古屋学院大で開かれた。（奥田哲平）

宮宿会には熱田神宮や市民団体、区役所、名古屋学院大の関係者も加わり、地域を挙げた態勢になった。毎月一回、仕事が終わった後に集まり、歴史文化を見直したり、熱田区の将来構想を練ったりと、各委員会に分かれて議論している。

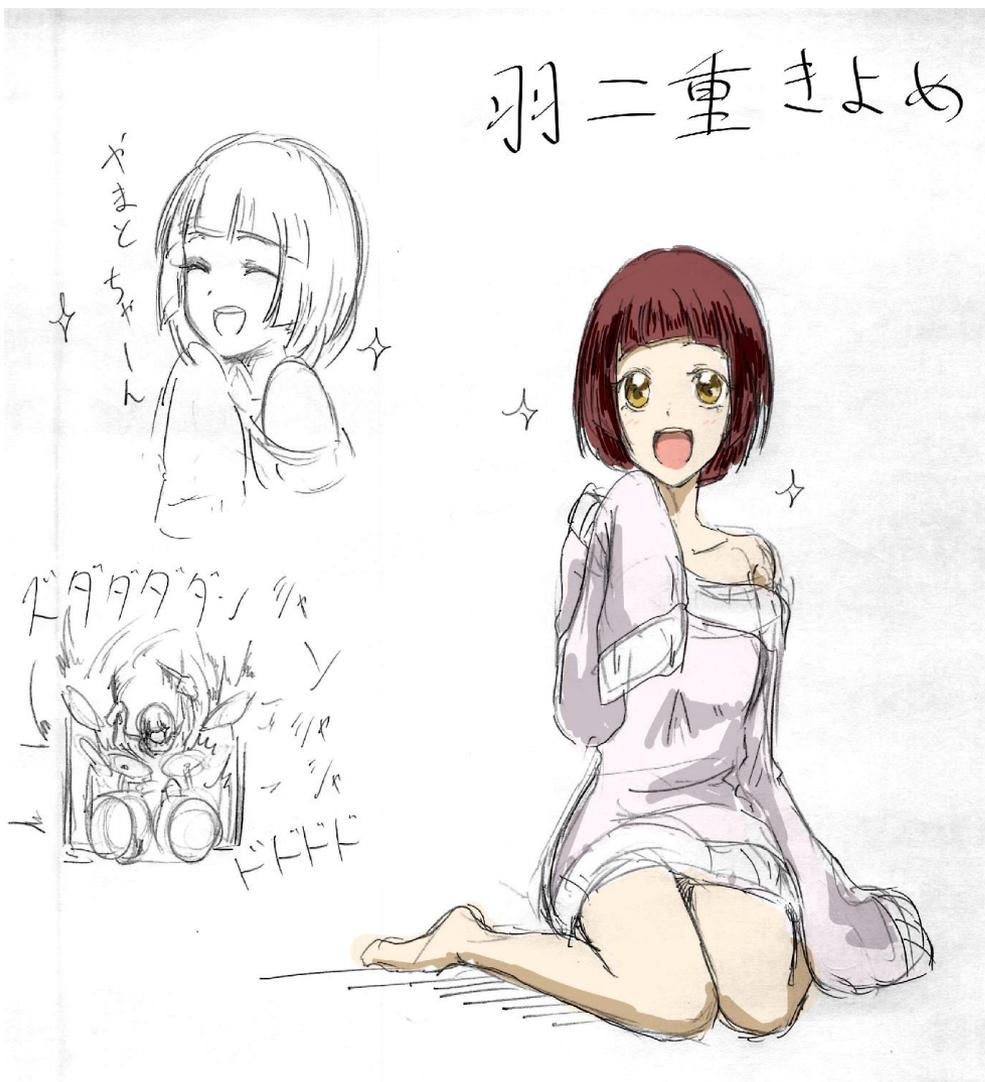
同大経済学部教授の水野晶夫さん(左)は「まちづくりはビジネスと切り離せないが、行政主導だと収益性のあることをするのは難しい。老舗が顔をそろえるのは可能性を秘めている」と期待する。二十日のシンポジウムでは、熱田神宮の大原和生総務部長が講演し、「参動交代」道を通過する四十一番目の宿場だ。人々を呼び込ませた。あつた」と熱田の隆盛を紹介した。

あつた宮宿会(事例1)

きよめ餅総本家

妙香園

あつた蓬菜軒



羽二重きよめ



水流園 妙



菜まひつ

あつた宮宿会(事例2)



協賛企業

あつた蓬萊軒、協栄興行(株)、宮商事(株)、大洋商事(株)、(株)きよめ餅総本家、(有)名古屋FPサービス、(株)妙香園
(株)川正工務店、(株)亀屋芳広、松波動物病院メディカルセンター、(資)山田屋、大嶽達郎建築設計事務所、
(資)大矢蒲鉾商店、日本料理 蓬萊、(株)オンデスク、(株)テツコーポレーション、(有)アトリエレーブ、宇治屋

熱田の歩み、歴史からくるプライド

熱田は日本武尊依頼、千数百年の歴史がある。

・・・中略・・・

それに比べ名古屋は築城後たかだか300年の歴史。

その名古屋になぜ熱田が合併されなければならないのか。

〈熱田町議会議事録〉

熱田町議会

名古屋市への合併を「全会一致で否決」

明治11年 愛知郡熱田村となる

明治22年 熱田町となる

明治40年 名古屋市へ編入

明治41年 南区の一部となる

昭和12年 熱田区誕生

(理由)
本庄土地、不利用之者賣却之、他道路敷設等
轉用を可と認むるに據る

市編入諮問答申

本月六日御諮問本町ヲ廢シ名古屋市ニ編入シ
件本町會ハ之ヲ否認ス

(理由)

近者聞ク名古屋市發展策ノ一方法トシテ附近町
村ヲシテ市ニ合同セシメントノ計畫ニ熱中セラレ殊ニ
當熱田町ヲ第一着ニ編入セントスルモ是レ我町ニ
於テハ實ニ重大問題ニシテ輕忽ニ断行スヘカラサ
モノナリ思フニ名古屋市が大規模ヲ以テ諸種ニ

共済

成 員 信

水野専之助

外三名

熱田の誇り

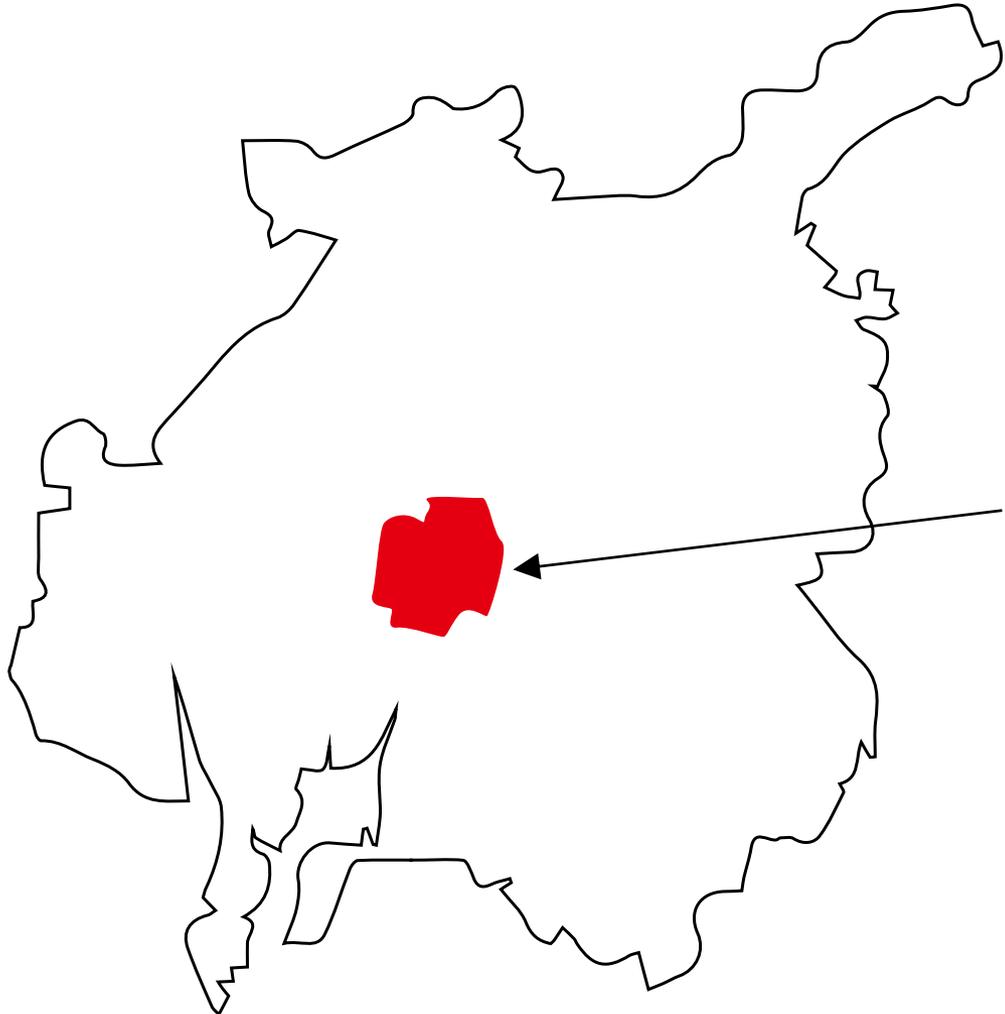
明治41年、名古屋市「南区」編入された段階

- ・ 南区「熱田」神戸町
- ・ 南区「熱田」須賀町
- ・ 南区「熱田」白鳥町

→ すべての町名に「熱田」の文字がつけられる。

伝統ある熱田を存続せしめたいとの旧町民の切なる願い。
自らの地域に誇りを持っていたかの証でもある。

〈熱田区HP「区長の部屋」より〉



日本の真ん中の名古屋！
名古屋のど真ん中熱田区！！

ご静聴ありがとうございました。